

令和7年度第3回八戸警察署協議会

- 1 開催期間
令和8年3月5日(木)午後4時25分から午後5時30分まで
- 2 開催場所
八戸警察署4階会議室
- 3 出席者
協議会委員 10人
正部家光彦会長、小川幸江副会長、富岡節子、上厚子、岩織好信、小野寺正、加藤理恵子、佐々木伸夫、柳沢りさ、吉井仁美
警察署 13人
署長、刑事生活安全官、地域官、交通官、会計官、留置官、生活安全課長代理、地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、警備課長、事務局
- 4 開催内容
開会
会長挨拶
警察署長挨拶
代表者会議出席結果報告
本年度の取組結果説明
意見、要望、質疑
昨年、青森県東方沖地震の際、道路が車で大渋滞していたが、警察の渋滞対策はあるのか。
〔回答〕渋滞はどこで発生するのか分からず、事前対策は困難である。発災当時、20分後には、八戸警察署から市庁までの市道において渋滞が発生していた。
今後は、関係機関と連携のうえ、車避難についてもシミュレーションするなど、渋滞しやすい箇所を把握していくことが課題である。地域住民の中には、津波警報と大津波警報の区別なく避難しようとする人がいるため、区別してもらえよう広報していく必要がある。
夜間、交番勤務員が不在のとき、室内が暗い交番がある。交番は地域の灯台だと思っているため、明かりがついていれば安心するし、犯罪の抑止力にもなる。また、コンビニエンスストアではAIが接客するところがあるが、交番でもAIを導入し、更に便利な世の中になればいいと思う。
新聞報道によると、特殊詐欺の被害額が何百万、何千万などと掲載され、大変な被害だと感じている。
一般家庭では、詐欺を警戒して電話に出ない方がおり、別の人をお願いして電話をかけてもらったことがある。
また、犯罪もそうだが、熊のことも心配である。
〔回答〕夜間、勤務員不在の交番でも電気は全て消灯しているわけではないと思うが、改めて確認し、検討していく。
詐欺グループはだましのプロとなり、その技術も上がってきているが、警察の啓発活動が追いついていない状態であり、そのような中、だまされないための手段の一つとして、地域住民には、知らない番号からの着信は出ないようにと指導している。

熊対策については、緊急銃猟に関するマニュアルを作成した市町村と連携し、被害が出ないようにしている。

特殊詐欺対策として留守番電話機能を活用し、相手が名前を言うまで電話に出ないようにしている。

町内の方たちに対しては、還付金や自分に関係のない電話は、会話の途中でも電話を切るようにと広報している。

取組結果説明にあった、令和8年4月1日から施行される自転車の交通違反に関する法改正について、ポスターがあれば町内の掲示板などに貼りたい。

〔回答〕自転車の法改正に関するポスターは、学校等に配布して周知を図っている。ポスターは準備してお渡しする。

関係機関が八戸警察署とコラボして行う広報活動やイベントは、とても有効である。

また、警察業務の理解や特殊詐欺被害防止に向けた啓発活動などは、何年にもわたってコツコツと行うことが大切である。

剣道、柔道、逮捕術は、地域の子供たちにも見学、体験してもらえれば、将来の職業の選択肢の一つになるかもしれない。

〔回答〕今後もコラボイベントはどんどん行っていきたい。

これまでも、小・中・高校等の庁舎見学は全て受け入れており、引き続き今後もコツコツと継続して広報効果を上げていきたい。

閉会

- 5 参考(術科見学、15:45～16:20、八戸警察署道場)
剣道、柔道、逮捕術の紅白試合、逮捕術の試し打ち体験

【開催状況】

